

## 夢のつばさプロジェクト

# 2017年春の交流会 学生報告書

【実施期限】 2017年3月19日

【開催地】 台原森林公園、太白区中央市民センター

【参加者】 子ども：15名（小学生10名、中学生4名、高校生1名）

保護者：2名

学生ボランティア、OB/OG：25名

社会人ボランティアスタッフ：2名

### ◆2017春の交流会について

---

今回で5回目を迎えた春の交流会は、陽気に満ちた春の訪れを感じるお天気の中、元気な15名の子ども達と一緒に楽しい一時を過ごすことができました。

今回は午前中に台原森林公園にて、カメラを使ってミッションを達成する写真を撮影していく企画、写真コンテストを行いました。同じ時間には、一部学生と保護者2名で保護者懇談会も行われました。午後には、太白区中央市民センターに移動し、子ども達同士が互いを知り、仲を深めていけるよう「イメージゲーム」を行いました。その後は体育館で体を動かして遊ぶグループと、夢のつばさのキャンプについて意見を出し合う意見交換会に参加するグループに分かれて活動しました。

今回の交流会では、1日の行動を3つの班に分かれて行動しました。半日という短い時間でしたが、同じ班の子ども同士、子どもと学生が楽しい思い出を共有することができました。以下詳細を報告いたします。

### ◆タイムスケジュール・詳細

---

時間	子どもたちの動き	保護者会の動き
10:10	子どもたち仙台駅集合	
10:20	仙台駅発	
11:10	台原森林公園着	10:45～12:15 保護者懇談会 …②
11:15	写真コンテスト開始 …①	
11:45	昼食	
12:20	自由時間	

12:50	台原森林公園発	
13:30	太白区中央市民センター着	
13:45	イメージゲーム開始	…③
14:15	体育館遊び	…④
	・意見交換会開始	…⑤
15:50	太白区中央市民センター発	
16:10	仙台駅着	
16:30	解散	

### ①写真コンテスト

ミッションショットをクリアしていくために、班ごとに協力してたくさんの写真を撮影しました。班員全員でジャンプしている写真や公園にある遊具で遊んでいる様子を取めた写真など、様々なミッションを準備しました。子どもたちはミッションクリアのために、「次はあっちに行こう!」「私がカメラマンする!」と班で話し合いながら、広場を駆け回っていました。企画を通して思い出を写真という形で残すことができました。台原森林公園では、写真コンテストの撮影を行った後、暖かな空の下みんなでお昼ご飯を食べたり、アスレチック広場で体を目一杯動かして遊んだりすることができました。



### ②保護者懇談会

子どもたちが公園で遊んでいる一方、生涯学習支援センターでは保護者懇親会を開催しました。今回は、直前にインフルエンザに罹患したお父さんがキャンセルとなったため、保護者の方も2名となってしまいましたが、大学生ボランティア3名と社会人スタッフ1名の計6名が参加しました。キャンプではなかなか見られない子どもたちの新たな一面を知ることができ、貴重な機会となりました。

保護者の方々には、子どもたちの普段の様子から本プロジェクトへのご要望まで、ざっくばらんに話していただきました。今回が七回忌の時期であったこともあり、震災直後の様子を振り返り、ご自身の被災経験について語ってくださることも多々ありました。その度に、改めて痛ましく思う気持ちが募りました。またさらには、子どもに勉強する習慣が身についていないと、お二人とも共通して悩んでおられました。このように子どもたちだけでなく、保護者の方々のニーズにも応えていきたいという想いがより一層強くなりました。

### ③イメージゲーム

その後、公園から電車と徒歩で太白区中央市民センターへと移動しました。このゲームは、子どもた



ちが午前中の活動や移動を共にしている同じ班のお友達とペアになり、お互いの頭の中をイメージして描くという企画でした。今までの交流や質問から、ペアの子のイメージを文字や絵にして表していきます。普段一緒に遊んでいるお友達のことをさらに知っていく機会になりました。子ども達は楽しくおしゃべりしながら完成させた後、お互いに書いてもらったイメージ図をお家に持って帰りました。



#### ④体育館遊び

2グループに分かれて行動しました。体育館では、なんでもバスケットとドッジボールを行いました。なんでもバスケットでは、ムードメーカーの男の子たちが盛り上げて、笑いの絶えない時間となりました。ドッジボールは年齢性別問わず、子ども達に人気のある遊びです。子ども達も学生も一緒になって白熱したゲームを楽しんでいました。

#### ⑤意見交換会

体育館遊びと並行して、会議室で中学生3名、高校生1名、学生スタッフ3名で意見交換会を実施しました。この話し合いは、冬キャンプに行った春の交流会に向けての子どもミーティングで発案された意見を基に行われました。内容は、「夢のつばさのキャンプでやりたいこと」や「夢のつばさで変えたいところ」です。参加してくれた子ども達は、年下の子も年上の子も学生も楽しめるキャンプを作ろうとたくさんの意見を出してくれました。「小学生も高校生も同じ企画で大丈夫。広い施設を使って、全員参加でダイナミックに遊びたい」という意見が続々と出て、意見交換会が終わった後には、「この会で出た意見を実現してほしい」「たくさん話せて楽しかった」という声が聞けました。

### ◆春の交流会を終えて

今回の春の交流会は、同学年の子ども達同士の結びつきを強くしていくという目標のもと企画しました。学生と子ども達はもちろんのこと、同年齢のお友達と楽しい時間を共有することで、かけがえのない思い出が積み重なることとなったと思います。

また、今回は中高生に夢のつばさでやりたいこと等、活動への素直な意見を聞くことができました。今後はそうした意見を聞くことだけでなく、キャンプの運営などにも子ども達を巻き込み、子ども達と一緒に夢のつばさのキャンプを作り上げていくことができると嬉しいです。そこへの第1歩として、意見交換会での案を実現できるよう、スタッフ一同力を合わせて努力して参ります。

最後に、保護者の方々や社会人スタッフの皆様をはじめ、夢のつばさを支援してくださっている方々のお力添えに感謝を申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。